

ひきこもりについて考える

～家族の対応や地域のあり方～

今回、内閣府が発表したひきこもりの報告は推定 115 万 3,000 人に上りました。*15 才～39 才 54 万人（2016 年 9 月若者生活に関する調査）、40 才～64 才 61.3 万人（2019 年 3 月生活状況に関する調査）

私たちはコロナ禍の中で、益々不安が深まり、家庭の中で抱え込んでしまう状況になっています。人とつながることが難しく、自然に心を閉ざしていく、そのことが社会に対しての絶望、社会のルールに戻ることは無理と、心がひきこもっていきます。だからこそ、人とつながり連携できる知恵を考えてみましょう。

今回は、フリージャーナリストの池上正樹氏をお招きしてお話していただきます。

○日 時：令和 4 年 10 月 9 日（日）

14：00～16：00（受付 13：30～）

○実施方法：オンライン

※中部地区コミュニティセンター研修室でも視聴可能です。

○講 師：池上 正樹 氏（フリージャーナリスト）

○定 員：視聴会場は、定員 50 名に達し次第締め切ります。（先着順）

○参 加 費：無料

○申込方法：チラシの裏面の申込用紙にご記入の上、9/30（金）までに電話や FAX、メールでお申込ください。

【池上正樹氏プロフィール】

KHJ 全国ひきこもり家族連合会広報担当理事。日本文藝家協会会員。20 年以上前から「ひきこもり」関係の取材を続けている。東日本大震災後は被災地に入り、ひきこもり当事者が震災でどう行動したかを調査。2012 年から東京都内で開かれている対話の場「ひきこもりフューチャーセッション庵ー I O R I ー」設立メンバー。NHK『クローズアップ現代+』『あさイチ』をはじめ、テレビやラジオにも多数出演。著書は『ルポ「8050 問題」高齢親子 “ひきこもり死” の現場から』（河出書房新社）『ルポひきこもり未満～ルールから外れた人たち』（集英社新書）『ひきこもる女性たち』（ベスト新書）『大人のひきこもり』（講談社現代新書）『あのとき、大川小学校で何が起きたのか』（青志社/共著）など。

会場での参加のみなさまへ

- ・1 週間前より検温して、体調を整えていただき、体調のすぐれない場合は参加をご遠慮ください。
- ・当日は、入り口で手指消毒と体温測定をお願い致します。また、マスク着用と水分補給の水をご持参ください。
- ・感染症の流行状況により、やむを得ず日程の一部または、すべてを中止する場合があります。

【申し込み先】

NPO 法人フリースペースふきのとう TEL:0956-25-6222（水・土・日・祝日はお休み）

FAX:0956-76-8131

Mail:f-porepore@shirt.ocn.ne.jp

【問い合わせ】

NPO 法人フリースペースふきのとう TEL:0956-25-6222

*上記に連絡がつかない場合は下記にお問い合わせください。

佐世保市障がい福祉課 TEL:0956-24-1111（内線5111）



令和4年度ひきこもり家族支援講演会 参加申込書

NPO 法人フリースペースふきのとう 事務局宛

Mail:f-porepore@shirt.ocn.ne.jp

FAX(送信票は不要):0956-76-8131

申し込み締切：令和4年9月30日（金）

（1）参加申込者

	氏名	町名	電話番号
1			
2			
3			
4			
5			

（2）受講方法（①か②に○をお願いします）

①視聴会場で受講（中部地区コミュニティーセンター）

②職場や自宅にて受講（下記、受講場所とメールアドレスを必ずご記入ください。）

- ・受講場所（ ）
- ・メールアドレス（ ）
- ・10月3日（月）までにURL・ID・パスワードをメールで送信します。
- ・当日は、13時30分より受付を開始しますので、指定のURLからアクセスしてください。